

(様式-1) 構想に用いるフレーム値等の設定調書 (第2章 2-3)

項目		設定値			
市町村名		八街市			
行政人口 (人)	現況 (R2年度末)	68,301			
	計画 (左:R6, 右:R31年度)	65,476	37,552		
行政区域内世帯数 (世帯)	現況 (R2年度末)	32,094			
	計画 (左:R6, 右:R31年度)	31,784	19,457		
世帯構成人員 (人/世帯)	現況 (R2年度末)	2.13			
	計画 (左:R6, 右:R31年度)	2.06	1.93		
計画汚水量原単位 (1/人・日)	区分①	(分類を記入のこと)	日平均	日最大	
		公共下水道	生活	245	330
			営業	50	65
			地下水	70	70
			計	365	465
	区分②	(分類を記入のこと)	日平均	日最大	
		生活			
		営業			
		地下水			
		計	0	0	
	区分③	(分類を記入のこと)	日平均	日最大	
		生活			
		営業			
		地下水			
		計	0	0	
	区分④	(分類を記入のこと)	日平均	日最大	
		生活			
		営業			
		地下水			
		計	0	0	
公共下水道事業	管渠建設費 (万円/m)	自然流下	7.2		
		圧送	5.2		
	管渠維持管理費 (円/m/年)	69			
集落排水事業	管渠建設費 (万円/m)	6.4			
	管渠維持管理費 (円/m/年)	36			
マンホールポンプ	建設費 (万円/基)	1057			
	維持管理費 (万円/年/基)	25.3			
合併処理浄化槽	建設費 (万円/基)	5人槽	96.2		
		7人槽	119.9		
	維持管理費 (万円/基/年)	5人槽	7.5		
		7人槽	8.8		
施設耐用年数 (年)	管渠	72			
	処理場	33			
	合併処理浄化槽	32			
	マンホールポンプ	25			

注)

- ・計画汚水量原単位については、検討単位区域(ブロック)別に使分けられる場合には区分により記入する。
- ・実績値等を採用する場合には、「赤字」にて表示する。

(様式-2) 既整備区域等の把握・設定調書 (第3章 3-2)

		都市名																		八街市									
既整備区域等 (ブロック) 番号	計画 汚水量原単位 (R6)  区分番号 (①～④)	(1) 既整備区域等の把握・設定											(2) 家屋間限界距離を用いた周辺家屋の取り込み等による既整備区域等の設定							⑯ 計画汚水量 (合計)		備 考							
		整備手法	費用計算式 ①：公共下水道 ②：集落排水 ③：その他	事業実施時期		面 積		⑤ 現況世帯数 (R2末) (世帯)	人 口		⑧計画汚水量 (R6)		⑨合併浄化槽設置基 数		⑩ 家屋間 限界距離 (m)	一般家庭		⑪ その他施設 (学校・事業所・工場他)					日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)					
				① 着手年度	② 完了年度	③ 計画 (ha)	④ 整備済 (R2末) (ha)		⑥ 現況 (R2末) (人)	⑦ 計画 (R6) (人)	日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)	現況 (R2末) (基)	計画 (R6) (基)		⑪ 取り込み 世帯数 (世帯)	⑫ 取り込み 人 口 (計画) (人)	⑬ 取り込み 箇所数 (合計) (箇所)	⑭取込み箇所 からの計画排水量		⑮ 取り込み 換算人口 (計画) (人)								
A	①	公共下水道事業 (流開)	①	S52	継続中	594	453	10,082	21,297	22,719	8,292	10,564	1,006	-	83	2,358	4,857	151	0	0	418	9,954	12,674	印旛沼流域関連下法認可区 域用途地域 (594ha)					
						用途地域内現況世帯数・人口 (R2年度末)					用途地域内将来世帯数・人口 (R6年度)																		
						行政区	行政区内 世帯数	行政区内 人口	用途地域内 世帯数	用途地域内 人口	用途地域内 人口	開発計画	増加傾向を 示す行政区	増加に転じる と予想される 行政区	合計	用途地域内 世帯数		施設区分	延べ戸数 (箇所)	施設名	所在地	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人/戸)	人口 (人)	備考				
							(世帯)	(人)	(世帯)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(世帯)		一般家庭											
						1区	2,097	4,635	1,688	3,566	3,443				470	3,913	1,900					2,358	2.06	4,857					
						2区	2,236	4,639	2,009	4,244	4,099				470	4,569	2,218												
						3区	1,057	2,143	1,050	2,217	2,141	790		260	3,191	1,549													
						4区	1,572	3,229	1,514	3,197	3,088				3,088	1,499						2,358		4,857					
						5区	680	1,488	449	949	917				917	445													
						榎戸	1,616	3,379	430	909	878				878	426						148	2.06	305					
						富山	1,472	3,282	106	224	216				216	105						14	2.06	29					
						大関	482	942	157	333	321				321	156						8	2.06	16					
						朝日	1,491	3,137	274	579	559				559	271						33	2.06	68					
						大東	853	1,748	664	1,401	1,353			160	1,513	735						55		113					
						真井原	835	1,756	301	636	615				615	299						203		418					
						泉台	828	1,845	881	1,860	1,797				1,797	872													
						みどり台	435	953	428	905	874				874	424													
						ライオンズガーデン	132	243	131	277	268				268	130													
						合計	15,786	33,419	10,082	21,297	20,569	790	0	1,360	22,719	11,029						2,561		5,275					
						ブロック番号	種別	人口 (人)	汚水量原単位 (L/人・日)	計画汚水量 (m <sup>3</sup> /日)																			
						A: 既整備区域 (用途地域)	日平均	22,719	365	8,292																			
							日最大	22,719	465	10,564																			

注)  
 ・既整備区域等(ブロック)番号は、構想図と対応する番号とする。  
 ・計画汚水量原単位の区分番号は、(様式-1)に設定した計画汚水量原単位の区分のうち、当該検討単位区域で使用する計画汚水量原単位(①～④)を記入する。  
 ・整備手法には、既整備区域等における整備手法を記入する。また備考欄には、既整備区域等の種別を記入する(マニュアル3-2(1)より)。  
 ・費用計算式は、当該検討単位区域で使用する費用計算式(①:公共下水道、②:集落排水、③:その他)を記入する。③の場合、家屋間限界距離は別途算定する。  
 ・現況とは、平成26年度末現在のことをいう。また計画とは、平成36年度時点のことをいう。  
 ・①、②は、事業着手年度と事業完了年度を記入するが、現在、事業が継続中のものは、②に「継続中」と記入する。  
 ・⑧は、家庭汚水量以外の汚水量(工場汚水量、観光汚水量等)を必要に応じて計上する。  
 ・⑨は、整備手法が合併浄化槽(浄化槽市町村整備推進事業、個別排水処理施設整備事業、合併処理浄化槽(個人設置))によるものである場合に記入する。  
 ・⑩は、既整備区域等に一般家屋1戸を接続した場合の数値である(合併処理浄化槽:5人槽を想定)。  
 ・⑪、⑬は、周辺家屋の取り込み検討により増加した一般家庭世帯数(戸数ではない)、およびその他施設(学校・事業所・工場他)の箇所数を記入する。  
 ・⑭は、周辺家屋の取り込み検討により増加したその他施設(学校、事業所、工場他)から発生する計画排水量(複数の施設がある場合はその合計値)を記入する。  
 ・⑮が不明な施設については、「建築物の用途別による尿浄化槽の処理対象人員算定基準(JIS A 3302-2000)」等を参考に取込み換算人口を算出し、その合計値を⑮に記入する。  
 ・⑯と⑰については、ダブルカウントにならないように留意する。

(様式-3) 既整備区域等以外の検討単位区域の設定調査 (第3章 3-3)

																											都市名	八街市		
検討単位区域 (ブロック) 番号	計画 汚水量原単位 (R6)  区分番号 (①~④)	費用計算式  ①:公共下水 ②:集落排水 ③:その他	(1) 既整備区域等以外の検討単位区域の把握・設定 (既構想ブロック or 新規設定ブロック)										(2) 家屋間限界距離を用いた周辺家屋の取り込み等による増加分										(3) 取り込み検討後の検討単位区域……(1)+(2)						備考	
			一般家庭			その他施設 (学校・事業所・工場他)				計画汚水量 (R6)			⑥ 家屋間 限界距離 (m)	一般家庭		その他施設 (学校・事業所・工場他)			計画汚水量 (R6)		一般家庭		その他施設 (学校・事業所・工場他)			計画汚水量 (R6)				
			① 計画 世帯数 (R6) (世帯)	② 計画人口 (R6) (人)	③ 箇所数 (箇所)	④その他施設 からの計画排水量		⑤ 換算人口 (計画) (人)	日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)	⑦ 計画 取り込み 世帯数 (世帯)	⑧ 計画 取り込み 人口 (人)		⑨ 取り込み 箇所数 (箇所)	⑩その他施設 からの計画排水量		日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)	⑪ 取り込み 換算人口 (人)	日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)	⑫ 計画世帯数 (R6) (世帯)	⑬ 計画人口 (R6) (人)	⑭ 箇所数 (箇所)	⑮その他施設 からの計画排水量		⑯ 取り込み 換算人口 (人)	日平均 (m3/日)		日最大 (m3/日)
						日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)								日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)									日平均 (m3/日)	日最大 (m3/日)				
15	①	①	39	83	0	0	0	0	26	33	38	0	0	0	0	0	0	0	0	39	83	0	0	0	0	26	33			
16	①	①	63	134	1	0	0	2	43	54	50	0	0	0	0	0	0	0	63	134	1	0	0	2	43	54				
17	①	①	40	85	0	0	0	0	27	34	39	0	0	0	0	0	0	0	40	85	0	0	0	0	27	34				
18	①	①	33	70	2	0	0	4	23	30	36	0	0	0	0	0	0	0	33	70	2	0	0	4	23	30				
24	①	①	27	58	6	0	0	12	22	28	33	0	0	0	0	0	0	0	27	58	6	0	0	12	22	28				
25	①	①	98	209	3	0	0	6	68	86	58	0	0	0	0	0	0	0	98	209	3	0	0	6	68	86				
27	①	①	110	234	3	0	0	6	76	96	60	0	0	0	0	0	0	0	110	234	3	0	0	6	76	96				
28	①	①	22	47	0	0	0	0	15	19	22	0	0	0	0	0	0	0	22	47	0	0	0	0	15	19				
29	①	①	122	260	203	0	0	418	214	271	73	0	0	0	0	0	0	0	122	260	203	0	0	418	214	271				
43	①	①	84	179	2	0	0	4	58	73	54	0	0	0	0	0	0	0	84	179	2	0	0	4	58	73				

注)  
 ・検討単位区域 (ブロック) 番号は、構想図と対応する番号とする。  
 ・計画汚水量原単位の区分番号は、(様式-1) に設定した計画汚水量原単位の区分のうち、当該検討単位区域で使用する計画汚水量原単位 (①~④) を記入する。  
 ・費用計算式は、当該検討単位区域で使用する費用計算式 (①:公共下水道、②:集落排水、③:その他) を記入する。③の場合、家屋間限界距離は別途算定する。  
 ・現況とは、平成26年度末現在のことをいう。また計画とは、平成36年度時点のことをいう。  
 ・①は、検討単位区域内における一般家庭世帯数 (戸数ではない) を記入する。③は、その他 (学校、事業所、工場他) 施設の箇所数を記入する。  
 ・④は、検討単位区域内におけるその他施設 (学校、事業所、工場他) から発生する計画排水量 (複数の施設がある場合はその合計値) を記入する。  
 ・④が不明な施設については、「建築物の用途別による尿尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302-2000)」等を参考に取込み換算人口を算出し、その合計値を⑤に記入する。  
 ・④と⑤については、ダブルカウントにならないように留意する。  
 ・⑥は、当該検討単位区域に一般家屋1戸を接続した場合の数値である (合併処理浄化槽:5人槽を想定)。  
 ・⑦は、周辺家屋の取り込み検討により増加した一般家庭世帯数 (戸数ではない) を記入する。⑨は、その他施設 (学校、事業所、工場他) の箇所数を記入する。  
 ・⑩は、周辺家屋の取り込み検討により増加したその他施設 (学校、事業所、工場他) から発生する計画排水量 (複数の施設がある場合はその合計値) を記入する。  
 ・⑩が不明な施設については、「建築物の用途別による尿尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302-2000)」等を参考に取込み換算人口を算出し、その合計値を⑪に記入する。  
 ・⑩と⑪については、ダブルカウントにならないように留意する。

(様式-4) 既存污水处理施設の状況の把握調査 (第4章 4-3)

既存污水处理施設の状況													都市名	八街市
既整備区域等 (ブロック) 番号	個別処理施設関連				集合処理施設関連						施設の状況			備考
	① 整備手法 (事業の種類)	設置基数			⑤ 整備手法 (事業の種類)	⑥ 施設名称	⑦ 供用開始年度	処理能力		⑩ 稼働実績と 将来の稼働見込み (コメントを記入)	⑪ 処理場用地の状況 (コメントを記入)	⑫ 老朽度合いと 今後の改築・更新見込み (コメントを記入)		
		② 現況 (基)	③ 計画 (基)	④ 普及率 (%)				⑧ 現況 (m3/日)	⑨ 計画 (m3/日)					
A	-	-	-	-	公共下水道事業 (流開)	印旛沼流域下水道 花見川終末処理場 花見第二終末処理場	-	-	-	-	-	-	-	

注)  
・①、⑤は、現在の污水处理施設の整備手法 (事業の種類) について記載する。  
・⑩～⑫は、污水处理施設に対する現在の状況と今後の見通しについてコメントを記入する。

(様式-5) 経済性を基にした集合処理・個別処理の比較調書(第4章 4-4)

				経済性を基にした集合処理・個別処理の判定																				都市名	八街市			
検討単位区域 (ブロック) 番号	計画 汚水量原単位 (R6) 区分番号 (①~④)	費用計算式 ①:公共下水 ②:集落排水 ③:その他	計画汚水量 (R6)		集合処理の概算事業費										個別処理の概算事業費										判定結果		備考	
			日平均 (m <sup>3</sup> /日)	日最大 (m <sup>3</sup> /日)	① 処理施設 建設費 (万円/年)	② 処理施設 維持管理費 (万円/年)	③ MP 設置基数 (基)	④ MP 建設費 (万円/年)	⑤ MP 維持管理費 (万円/年)	⑥ 自然流下 管渠延長 (m)	⑦ 圧送 管渠延長 (m)	⑧ 管渠建設費 (万円/年)	⑨ 管渠 維持管理費 (万円/年)	集合処理 合計 (万円/年)	⑩ 一般家庭 世帯数 (計画) (戸)	一般家庭を除く施設 (学校・事業所・工場他)			⑭ 浄化槽 建設費 【5人槽】 (万円/年)	⑮ 浄化槽 建設費 【7人槽】 (万円/年)	⑯ 浄化槽 維持管理費 【5人槽】 (万円/年)	⑰ 浄化槽 維持管理費 【7人槽】 (万円/年)	⑱ その他 (万円/年)	個別処理 合計 (万円/年)	集合-個別 (万円/年)	【判定】 集合処理 or 個別処理		
																⑪ 箇所数 (箇所)	⑫ 合併浄化槽 【5人槽換算】 (基)	⑬ 合併浄化槽 【7人槽換算】 (基)										
15	①	①	26	33	283.6	191.7	0	0.0	0.0	892	0	89.2	6.2	570.7	39	0	0	0	117.2	0.0	292.5	0.0	0.0	409.7	161.0	個別処理		
16	①	①	43	54	361.0	265.4	0	0.0	0.0	1,210	0	121.0	8.3	755.7	63	1	1	0	192.4	0.0	480.0	0.0	0.0	672.4	83.3	個別処理		
17	①	①	27	34	287.8	195.6	0	0.0	0.0	284	0	28.4	2.0	513.8	40	0	0	0	120.3	0.0	300.0	0.0	0.0	420.3	93.5	個別処理		
18	①	①	23	30	270.6	180.1	0	0.0	0.0	712	0	71.2	4.9	526.8	33	2	2	0	105.2	0.0	262.5	0.0	0.0	367.7	159.1	個別処理		
24	①	①	22	28	261.6	172.0	0	0.0	0.0	849	0	84.9	5.9	524.4	27	6	6	0	99.2	0.0	247.5	0.0	0.0	346.7	177.7	個別処理		
25	①	①	68	86	453.4	360.8	0	0.0	0.0	1,215	0	121.5	8.4	944.1	98	3	3	0	303.6	0.0	757.5	0.0	0.0	1,061.1	-117.0	集合処理		
27	①	①	76	96	478.5	388.0	0	0.0	0.0	1,408	0	140.8	9.7	1,017.0	110	3	3	0	339.7	0.0	847.5	0.0	0.0	1,187.2	-170.2	集合処理		
28	①	①	15	19	216.4	133.2	0	0.0	0.0	210	0	21.0	1.4	372.0	22	0	0	0	66.1	0.0	165.0	0.0	0.0	231.1	140.9	個別処理		
29	①	①	214	271	795.7	769.6	0	0.0	0.0	1,720	0	172.0	11.9	1,749.2	122	212	212	0	1,004.1	0.0	2,505.0	0.0	0.0	3,509.1	-1,759.9	集合処理		
43	①	①	58	73	418.4	323.8	0	0.0	0.0	981	0	98.1	6.8	847.1	84	2	2	0	258.5	0.0	645.0	0.0	0.0	903.5	-56.4	集合処理		

注)  
 ・検討単位区域(ブロック)番号は、構想図と対応する番号とする。  
 ・計画汚水量原単位の区分番号は、(様式-1)に設定した計画汚水量原単位の区分のうち、当該検討単位区域で使用する計画汚水量原単位(①~④)を記入する。  
 ・費用計算式は、当該検討単位区域で使用する費用計算式(①:公共下水道、②:集落排水、③:その他)を記入する。③の場合、処理施設および管渠の建設費・維持管理費は別途算定する。  
 ・計画汚水量には、(様式-3)調書の「(3)取り込み検討後の検討単位区域」の「計画汚水量(H36)」を記入する。  
 ・⑩は、(様式-3)調書の「⑩計画世帯数」を記入する。なお、一般家庭は5人槽の合併浄化槽設置を想定している。  
 ・⑪は、(様式-3)の「⑪箇所数」を記入する。  
 ・⑫、⑬は、一般家庭を除く施設(学校、事業所、工場他)において汚水処理が可能となる処理能力相当の合併浄化槽(5人槽・7人槽)の合計基数を記入する。  
 ・⑱は、個別処理にあたり、その他必要となる施設費用があれば記入する。  
 ・判定結果の「集合-個別」は、集合処理に掛かる費用から個別処理に掛かる費用を引いた値であり、「+」であれば個別処理、「-」であれば集合処理と判定される。





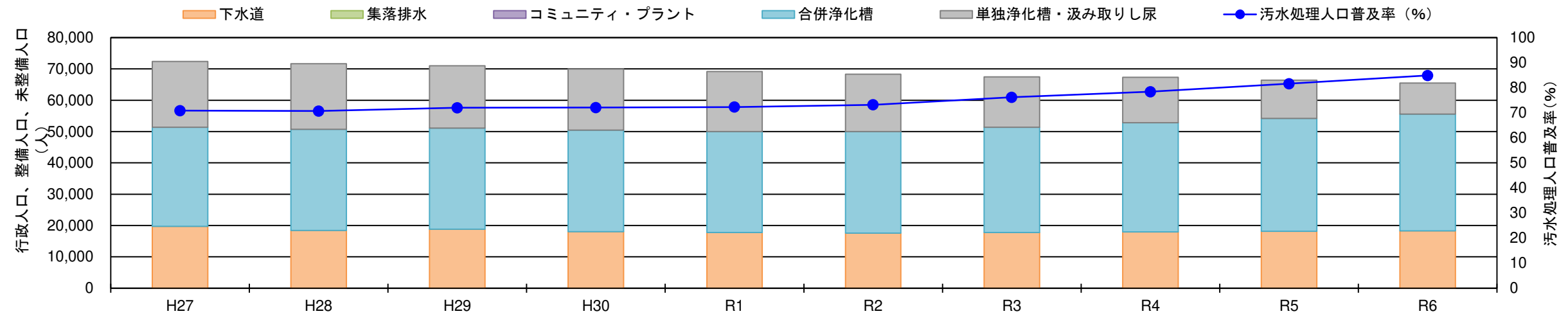




(様式-9) 事業手法の選定・事業間連携の検討調査 (第5章 5-1~5-2)

											都市名	八街市				
集合処理・個別処理の別	既整備区域等含む 検討単位区域 (ブロック) 番号	整備手法	計画値 (R6)			計画汚水量 (m <sup>3</sup> /日)		概算事業費		事業間連携	備考					
			面積 (ha)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	日平均	日最大	建設費 (万円)	維持管理費 (万円/年)							
												令和6年度		令和16年度		令和31年度
区域		世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)									
集合処理	A:用途地域 15~18, 24, 25, 27~29, 43	公共下水道事業 (流開)	468	8,882	18,297	6,678	8,508	44,680	5,202	印旛処理区						
	公共下水道 (流開)															
	①全体計画区域(集合処理:公共下水道) (A, 15~18, 24, 25, 27~29, 43)		全域	12,817	26,403	11,104	22,097	7,846	15,143							
			整備済	8,882	18,297	10,089	20,078	8,485	16,376							
	区域		令和6年度全体		令和6年度(整備済)		令和16年度(整備済)		令和31年度(整備済)		ブロック番号	計画 期間	種別	整備済人口 (人)	汚水量原単位 (L/人・日)	計画汚水量 (m <sup>3</sup> /日)
			世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	世帯数 (世帯)	一般家庭人口 (人)	全体計画区域 (A, 15~18, 24, 25 27~29, 43)	短期 (R6)	日平均	18,297	365	6,678
	八街市全域 (①+②+③+④)		31,784	65,476	26,985	55,590	26,002	53,544	19,210	38,417		日最大	18,297	465	8,508	
	1) 用途地域		9,985	22,719	8,882	18,297	8,650	19,013	6,112	13,029		中期 (R16)	日平均	19,984	365	7,294
	2) 限界距離取込み可能区域		0	0	0	0	488	971	1,520	3,042		日最大	19,984	465	9,293	
	3) 検討単位区域		0	0	0	0	0	0	606	1,170		長期 (R31)	日平均	17,241	365	6,293
	①印旛沼流域関連公共下水道事業 (印旛沼処理区)		9,985	22,719	8,882	18,297	9,138	19,984	8,238	17,241		日最大	17,241	465	8,017	
	②印旛沼流域関連特定環境保全公共下水道事業 (印旛処理区)		0	0	0	0	0	0	0	0						
	③農業集落排水事業		0	0	0	0	0	0	0	0						
	④合併処理浄化槽		21,799	42,757	18,103	37,293	16,864	33,560	10,972	21,176						
	⑤未処理区域		-	-	4,799	9,886	581	1,157	0	0						
公共下水道 残事業費																
ブロック番号	計画 期間	整備面積 (ha)	ha当り整備単価 (万円/ha)	管渠整備費 (万円)	年当り流域下水道 建設負担金 (万円)	流域下水道 建設負担金 (万円)	建設事業費計 (万円)									
全体計画区域 (A, 15~ 18, 24, 25 27~29, 43)	短期 (R6)	15	1,800	27,000	4,420	17,680	44,680									
	中期 (R16)	180	1,800	324,000	4,420	61,880	385,880									
	長期 (R31)	577	1,800	1,038,600	4,420	128,180	1,166,780									
公共下水道 維持管理費																
ブロック番号	計画 期間	整備済面積 (ha)	維持管理費 (万円/年)	ha当り維持管理単価 (万円/ha)	整備面積 (ha)	維持管理費 (万円/年)	年当り流域下水道 維持管理負担金 (万円/年)	維持管理費計 (万円/年)								
全体計画区域 (A, 15~ 18, 24, 25 27~29, 43)	短期 (R6)	453	757	2	468	782	4,420	5,202								
	中期 (R16)	468	782	2	633	1,057	4,420	5,477								
	長期 (R31)	633	1,057	2	1,030	1,720	4,420	6,140								
個別処理	一般家屋	合併処理浄化槽 (個人設置)	7,004	18,103	37,293			236,363	109,740							
		個別処理														
	一般家屋を除く 大型自家処理施設	大規模工場 京葉工業地帯 霊園・ゴルフ場	全体計画全域 以外	計画 期間	整備手法	浄化槽基数		種別	単価	概算事業費						
						要整備数	整備済									
						短期 (R6)	合併処理浄化槽				2,457	12,175	建設費	96.2 (万円/基)	236,363	
						中期 (R16)	合併処理浄化槽				5,568	14,632	維持管理費	7.5 (万円/基/年)	109,740	
						長期 (R31)	合併処理浄化槽				5,568	17,743	建設費	96.2 (万円/基)	535,642	
維持管理費	7.5 (万円/基/年)	151,500														
維持管理費	7.5 (万円/基/年)	174,833														
合計			7,472.0	26,985	55,590	6,678	8,508	281,043.0	114,942.0							

注) ・いずれの検討単位区域 (ブロック) に属さないもの (個別処理) については、「一般家屋」「一般家屋を除く大型自家処理施設」に分類して記入する。  
 ・一般家屋を除く大型自家処理施設については、「大規模工場」「京葉工業地帯」「霊園・ゴルフ場他」に分類して記入する。なお、これらについては面積のみの記入でよい。  
 ・事業間連携については、汚泥処理 (マニュアル第7章) ・運営管理 (マニュアル第5章、第6章) の検討後に記入する。



項目	実績値						計画値				増減数・割合		備考		
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増減数	増減割合			
行政人口(人)	72,406	71,691	70,986	69,932	69,169	68,301	67,461	67,350	66,429	65,476	-2,825	95.9	R2年度値ベース		
整備人口(人)	下水道	19,715	18,423	18,810	18,042	17,734	17,585	17,763	17,941	18,119	18,297	712	104.0	R2年度値ベース	
	流域関連 公共下水道	印旛沼	19,715	18,423	18,810	18,042	17,734	17,585	17,763	17,941	18,119	18,297			
	単独 公共下水道														
	集落排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	コミュニティ・プラント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合併浄化槽	31,629	32,292	32,292	32,380	32,290	32,405	33,627	34,849	36,071	37,293	4,888	115.1	R2年度値ベース		
未整備人口(人)	単独浄化槽・汲み取りし尿	21,062	20,976	19,884	19,510	19,145	18,311	16,071	14,560	12,239	9,886	-8,425	54	R2年度値ベース	
汚水処理人口普及率(%)	70.9	70.7	72	72.1	72.3	73.2	76.2	78.4	81.6	84.9	11.7	116	整備人口/行政人口		
行政面積(ha)	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494	7,494					
整備面積(ha)	下水道	438	439	439	447	447	453	457	461	464	468	15	103.3	R2年度値ベース	
	流域関連 公共下水道	印旛沼	438	439	439	447	447	453	457	461	464	468			
	単独 公共下水道														
	集落排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	コミュニティ・プラント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
面整備 事業費※1 (百万円)	下水道	33.012	21.327	15.377	35.364	26.859	51.328	30.544	30.544	30.544	30.544	0.0	101.6	実績値平均ベース	
	集落排水	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
	コミュニティ・プラント	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
処理場・ポン プ場 事業費※2 (百万円)	下水道	0.000	0.000	10.260	0.000	0.000	0.000	1.710	1.710	1.710	1.710	0.0	83.3	実績値平均ベース	
	集落排水	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
	コミュニティ・プラント	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000				

※1: 面整備事業費は、新規の単年度面整備事業費を記入  
 ※2: 処理場事業費は、改築更新を除く新規事業費を記入

都市名 **八街市**

■目標年次	令和6年
■手法毎の汚水処理整備区域(区域図)	※右図参照

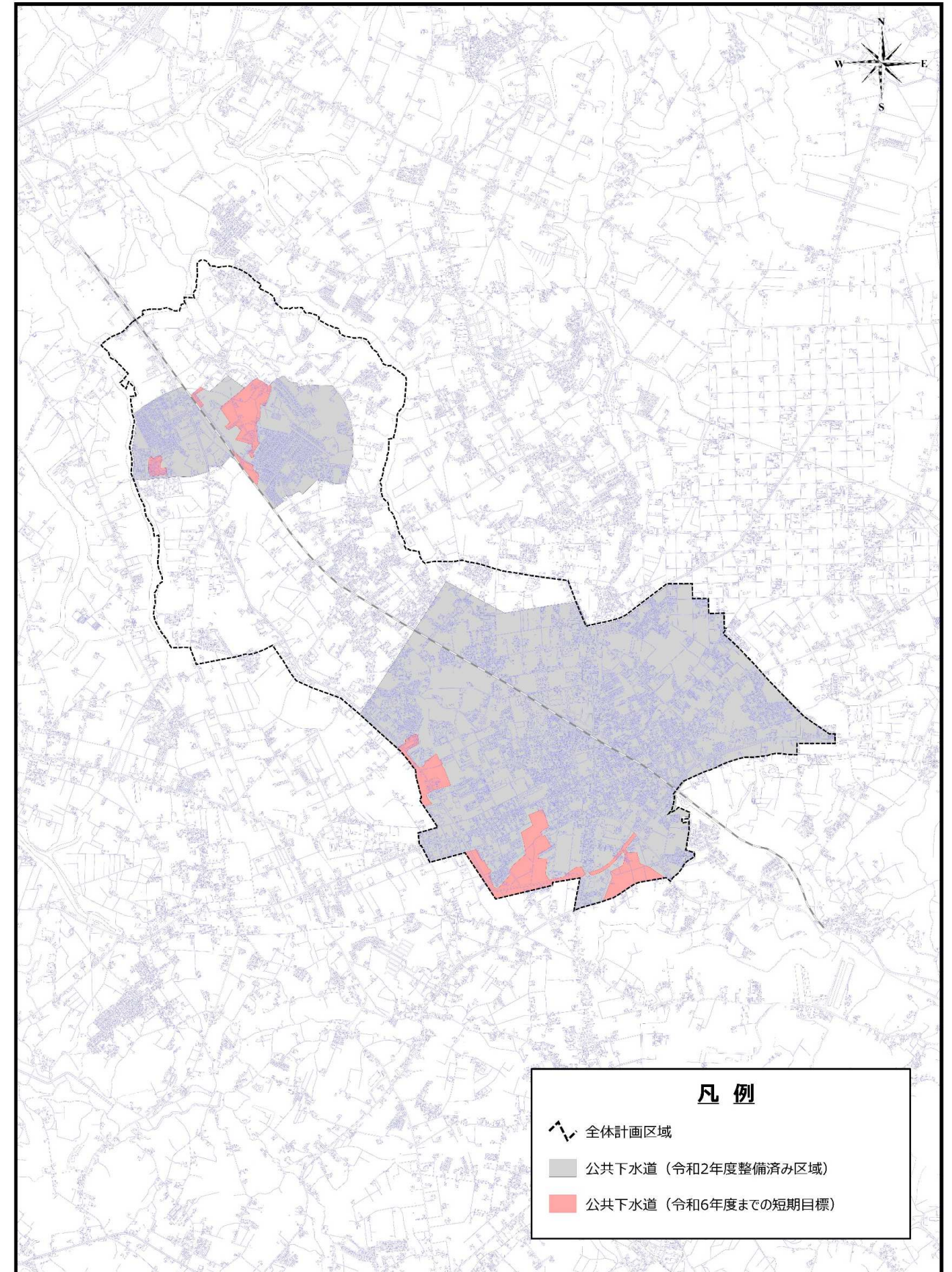
■整備計画

① 整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
施設整備	下水道	未整備地域の整備										
	浄化槽	浄化槽設置整備事業										
実行メニュー (早期概成)	共通	期間短縮手法による整備の実施										

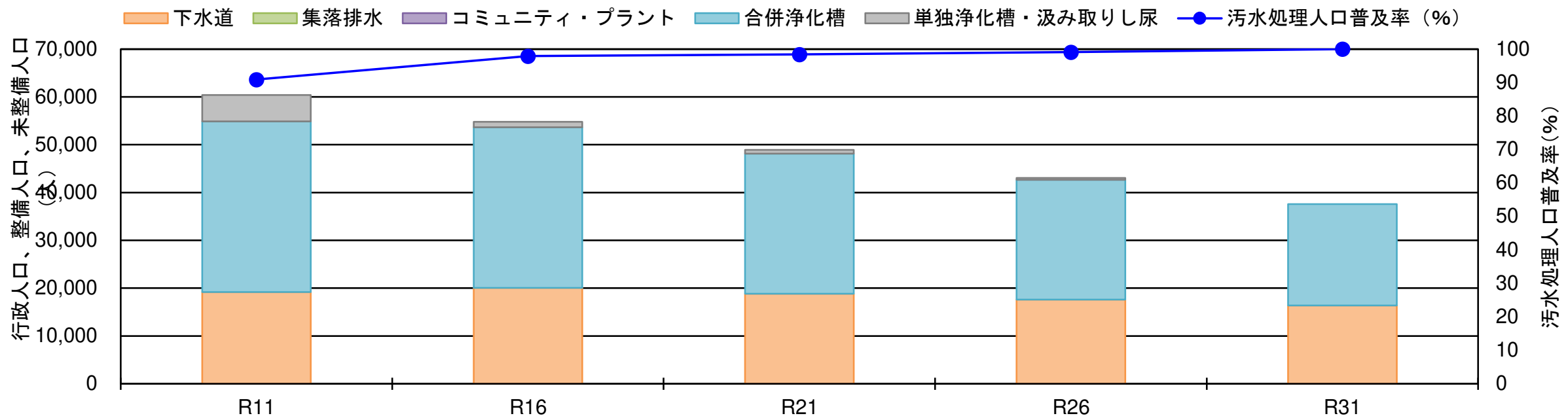
② 現況・目標値及び概算事業費等

整備手法	全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他	備考	
				個人設置型	市町村設置型			
現況値 (R2末)	①計画区域内人口(人)	68,301	27,477		38,770	0	2,054	
	②整備人口(人)	49,990	17,585		32,405	0	0	
	③整備面積(ha)	453	453					
	④汚水処理人口普及率(%)	73%	26%		47%	0%	0%	
	⑤水洗化率(%)	97%						
目標値 (R6)	⑥計画区域内人口(人)	65,476	26,403		37,964	0	1,109	
	⑦整備人口(人)	55,590	18,297		37,293	0		
	⑧整備面積(ha)	468	468					
	⑨汚水処理人口普及率(%)	85%	28%		57%	0%	0	
	⑩水洗化率(%)	98%						
⑪計画日最大汚水量(m <sup>3</sup> /日)			8,508					
⑫計画汚泥量(t/日)		68.3	43.7		24.6	0		
概算 事業費	総建設事業費 (百万円)	⑬管きよ・ポンプ場	2,811	447		2,364	0	建設費および事業費は印旛沼流域下水道負担金を含む。
		⑭処理場	0	0		0	0	
		⑮計	2,811	447		2,364	0	
⑯年間維持管理費(百万円/年)		1,149	52		1,097	0		
⑰整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		1,095	628		467	0		
⑱整備面積1ha当たりの整備金額(千円/ha)		29,800	29,800					
⑲実行メニュー (早期概成手法)	曲管の使用		○					
	小型マンホールの使用		○					



**凡例**

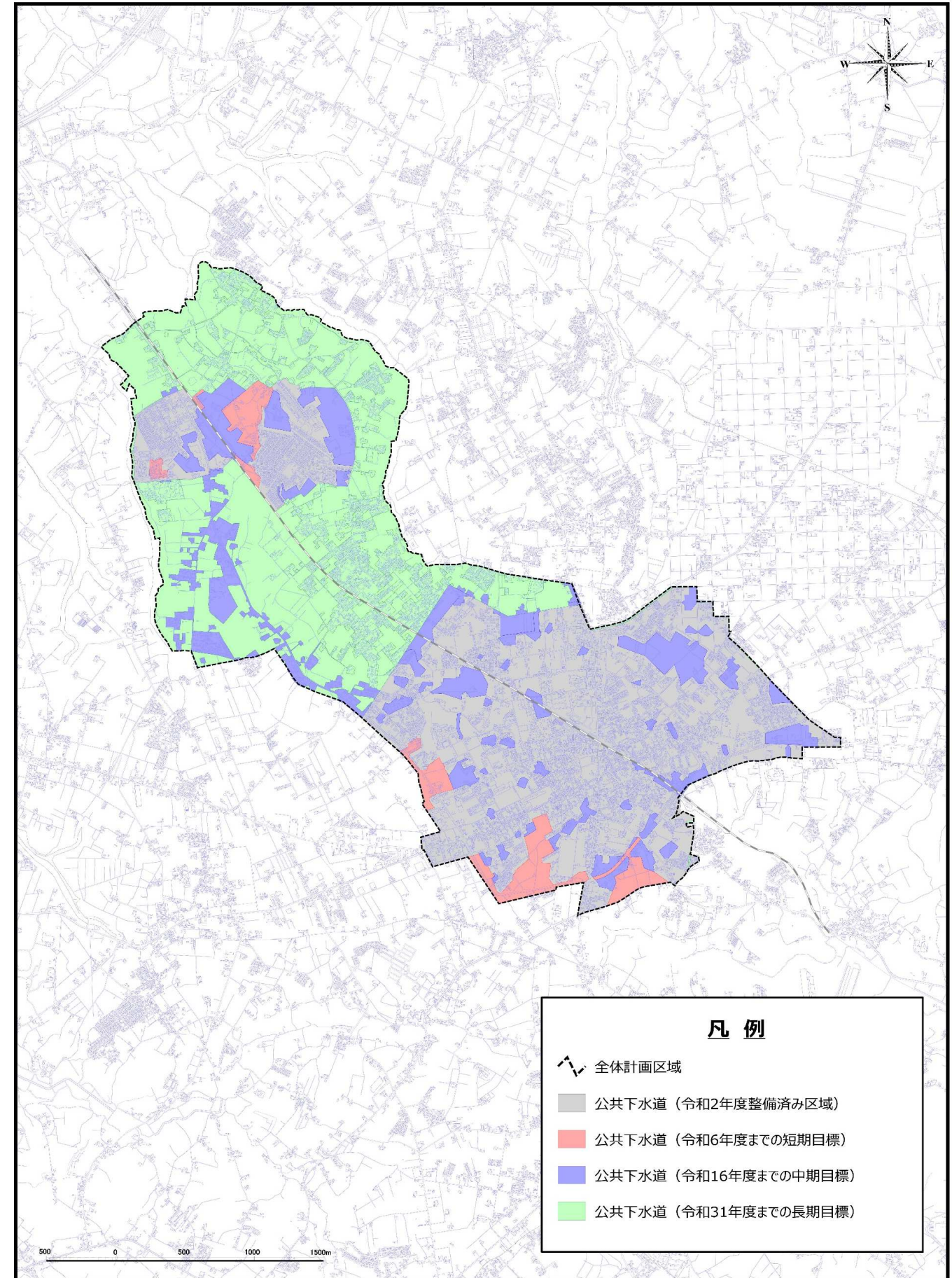
- 全体計画区域
- 公共下水道 (令和2年度整備済み区域)
- 公共下水道 (令和6年度までの短期目標)



				R11	R16	R21	R26	R31
行政人口(人)				60,371	54,795	48,904	43,048	37,552
整備人口 (人)	下水道	流域関連公共下水道	印旛沼	19,187	20,078	18,843	17,608	16,376
		単独公共下水道						
	集落排水			0	0	0	0	0
	コミュニティ・プラント			0	0	0	0	0
	合併浄化槽			35,663	33,560	29,289	25,053	21,176
未整備人口 (人)	単独浄化槽・汲み取りし尿			5,521	1,157	772	387	0
汚水処理人口普及率(%)				90.9	97.9	98.4	99.1	100
広域化・共同化 事業メニュー 概算事業費 (百万円)	ハード	農集(〇〇地区)と公共下水道の統廃合						
		し尿処理場を公共下水道へ編入						
		コミュニティプラン(〇〇地区)と公共下水道の統廃合						
	ソフト	維持管理委託の一括発注						
		水質試験の共同化(〇〇市)						

※広域化・共同化の事業メニューは、広域化・共同化計画と整合を図り記入してください。

■目標年次		令和16年～令和31年				
■手法毎の汚水処理整備区域(区域図)						
※右図参照						
■整備計画						
① 課題の整理						
課題1	財政状況の改善が必要					
課題2	全体計画区域内の下水道整備を完了させる					
課題3	全体計画区域内の現状農用地等である区域については、今後の開発等の動向に合わせて整備を行う					
② スケジュール						
計画区分	事業	事業内容	14 令和16年	29 令和31年		
実行メニュー (運営管理)	下水	全体区域内の整備	90%	100%		
	浄化槽	市内全域の整備	90%	100%		
③目標値及び概算事業費等						
整備手法	全体	全体内訳			備考	
		公共下水道	集落排水施設	浄化槽 個人設置型 市町村設置型		その他
計画値	整備人口(人)	37,552	16,376	21,176	-	
	整備面積(集合処理分)(ha)	1,030	1,030	-	-	
計画日最大汚水量(m <sup>3</sup> /日)			8,017	-	-	
計画汚泥量(t/日)		55.1	41.1	14.0	-	
ベンチマーク (指標)	地方公営企業法の適応の有無		○	-	-	
	一人あたりの年間維持管理費 (千円/年/人)	87	4	83	-	
概算事業費	総建設事業費(百万円)	17,024	11,668	5,356	-	建設費および事業費は、印旛沼流域下水道負担金を含む。
	年間維持管理費(百万円/年)	1,809	61	1,748	-	
実行メニュー						



(様式-12) 汚泥処理の基本方針・計画調書① (第7章 7-1)

										都市名	八街市
処理場名	処理場住所	現況 (R2末)			将来計画 (R31)		処分地の現況 (R2末) と計画				
		汚泥処理能力 (m3/日)	汚泥処理プロセス	現況 (R2末) における課題	汚泥処理能力 (m3/日)	汚泥処理プロセス	処分地名称	処分地住所	処理能力 (t/日)		
									現況	将来	
印旛沼流域下水道 花見川終末処理場 花見川第二終末処理場	花見川終末処理場 : 千葉市美浜区磯部8丁目24-1 花見川第二終末処理場 : 千葉市美浜区豊砂7番地			印旛沼処理区の汚水は、印旛沼流域下水道 花見川終末処理場および花見川第二処理場へ流入			-	-	-	-	

注) ・汚泥処理プロセスは、処理場内の全汚泥処理施設を記入する。(例: 「濃縮」 - 「消化」 - 「脱水」 - 「焼却」等)  
 ・将来計画とは、下水道全体計画等の最終計画のことをいう。

し尿処理場の現況と課題の把握及び将来計画					処分地の現況と計画				
し尿処理場名	し尿処理場住所	現況 (R2末) における課題	し尿処理能力 (kl/日)		処分地名	処分地住所	現況 (R2末) における課題	処理能力 (t/日)	
			現況 (R2末)	将来計画				現況 (R2末)	将来計画
印旛沼衛生施設管理組合	佐倉市宮本332番地		195.0	195.0	印旛沼衛生施設管理組合	佐倉市宮本332番地		16.2	16.2

都市名	八街市
浄化槽の現況 (R2末) (設置数)	
単独 (基)	合併 (基)
5,953	12,175

注) ・将来計画とは、各市町村の一般廃棄物処理計画によるものとする。  
 ・浄化槽の現況の欄には、市町村内全域における設置数を記入する。

(様式-14) 汚泥処理の基本方針・計画調書③ (第7章 7-1)

														都市名	八街市		
検討単位区域 (ブロック) 番号	計画値 (R31)		計画 発生汚泥量 (R31) (m <sup>3</sup> /日)	汚泥処理プロセス	接続しない場合			接続する場合						判定		備考	
	世帯数 (戸)	人口 (人)			処理場		③=①+② 計 (万円/年)	処理場		汚泥輸送			⑧= Σ(④~⑦) 計 (万円/年)	判定式 ⑨= ③の合計-⑧	最終評価 ○：接続する ×：接続しない		
					① 建設費 (万円/年)	② 維持管理費 (万円/年)		汚泥処理プロセス	④ 建設費 (万円/年)	⑤ 維持管理費 (万円/年)	汚泥輸送方式	⑥ 建設費 (万円/年)					⑦ 維持管理費 (万円/年)
A 15~18, 24, 25 27~29, 43	8,485	16,376	41.1	印旛沼処理区の汚水は、印旛沼流域下水道 花見川終末処理場および花見川第二処理場へ流入													

注)  
 ・計画発生汚泥量は、マニュアル(第7章7-1)に基づいて算出する。  
 ・汚泥処理プロセスは、処理場内の全汚泥処理施設を記入する。(例：「濃縮」―「消化」―「脱水」―「焼却」等)  
 ・汚泥輸送方式は、移動脱水車、バキューム車、汚泥管等の汚泥輸送方式を記入する。  
 ・②、⑤の維持管理費は、汚泥処分費用も含めて算出する。  
 ・⑨の判定式による結果が「+」の場合には接続した方が有利となり、「-」の場合には接続しない方が有利となる。



(様式-15) 汚泥処理総括調書 (第7章 7-1)

				都市名	八街市		
検討単位区域 (ブロック) 番号	計画値 (R31)		計画 発生汚泥量 (R31) (m3/日)	汚泥処理プロセス	概算事業費		備考 (統廃合または、汚泥の利 活用等を記入)
	世帯数 (戸)	人口 (人)			建設費 (万円)	維持管理費 (万円/年)	
A 15~18, 24, 25 27~29, 43	8,485	16,376	41.1	印旛沼処理区の汚水は、印旛沼流域下水道 花見川終末処理場 および花見川第二処理場へ流入			
上記以外	10,972	21,176	14.0	バキューム車による輸送	-	174,833	
個別処理							
合計	19,457	37,552	55.1		0.0	174,833.0	

注)  
 ・ 設定した汚泥処理区ごとに1行ずつ記入し、概算事業費は処理区単位でまとめて記入する。  
 ・ いずれのブロックに属さないもの（個別処理）については、個別処理の欄に一括で記入する。  
 ・ 汚泥処理プロセスは、処理場内の全汚泥処理施設を記入する。（例：「濃縮」―「消化」―「脱水」―「焼却」等）  
 ・ 維持管理費は、汚泥処分費用も含めて算出する。